

高橋作衛 たかはし さくゑし 法學者、漢詩人。慶應二年十月七日信濃國生れ、大正九年九月十三日歿（一八七一—一九二〇）。號月山、月山學人、藏山、藏山人、藏山子。帝國大學卒。國際法專攻、法學博士。日清戦争に法律顧問として従軍、旅順口海軍根據地通譯官となる。歐洲留學後、東京帝二年内閣法制局長官、五年貴族院議員。父は舊臣高遠藩藩儒高橋白山。自らも漢詩を能くした。

著書に、『日露戦争國際事件要論』（明治二十八年）二月（二十一）日清水書店）、『超然録』（大正九年十月十五日實業之日本社）等の他、『月山遺稿』（大正十一年六月一日高橋博士記念會編刊）がある。

